

広 資 料 第 2 0 3 号
令 和 6 年 3 月 1 3 日
企 画 財 政 部 企 画 政 策 課
市 民 情 報 提 供 資 料

オスプレイの飛行再開について

このことについて、立川飛行場周辺自治体連絡会は、別紙のとおり文書で申し入れましたので、お知らせします。

オスプレイの飛行再開について（要請）

令和5年11月30日、当連絡会は、鹿児島県屋久島沖合での横田基地所属CV-22オスプレイの墜落事故を受け、CV-22オスプレイについて安全性が確認されるまで、陸上自衛隊V-22オスプレイにおいて飛行を見合わせる事、事故の経緯、原因と米軍の再発防止策を踏まえた陸上自衛隊V-22オスプレイの対応策を明らかにすることなどを要請しました。

この度、令和6年3月8日、北関東防衛局から、「米軍オスプレイの運用停止措置の解除について」として、情報提供がありました。その中で「今回の事故に関する米軍の原因分析や安全対策は、防衛省・自衛隊の専門的な見地や、運用者の立場からも合理的であると評価しており、安全対策の措置を講じることで、陸上自衛隊のオスプレイも含め、安全に運用を再開できるとの考え」としています。

しかし、事故の根本原因は明らかにされておらず、よって、安全対策がいかにして事故の再発を防止するのかが不明である、と言わざるを得ません。

墜落事故を受け、基地周辺住民にあっては、オスプレイの安全性に対する不安を更に募らせており、今回の説明では到底その解消を図ることはできません。

については、以下のとおり要請します。

記

- 1 今回のCV-22オスプレイの事故の根本原因を明確にして、その上で講じられた安全対策がいかにしてV-22オスプレイの安全性確保につながるのか、明らかにすること。
- 2 1に関して、立川飛行場周辺住民に対し、国の責任において丁寧な説明を行うこと。

令和6年3月13日

{ 防衛大臣 木原 稔 殿
北関東防衛局長 二又 知彦 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林洋子
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	和地仁美
武蔵村山市長	山崎泰大

幹事 立川市長 酒井大史